



令和6年9月2日  
目黒区立目黒本町保育園園長

暑い日は続いますが、朝夕涼しい風が吹き、夏の終わりを感じます。夏の遊びの中で水しぶきを浴びて友達と笑い合う楽しさやチャレンジしたら出来たという子どもたちの経験は、これから園の生活や様々な行事に意欲的に関わる力の源になっていくと思います。

また、夏は様々な食材に触れてきました。ある朝1歳児クラスに大きなスイカを持っていくとまるごとのスイカに興味津々です。冷たい表面をたたいたり撫でたりしたり、持ってみたいと両手を広げます。保育士が支えながらスイカを渡すと足をふらつかせながらもぐっと踏ん張ってスイカを抱えていました。「おやつに食べようね」と話すと嬉しそうでした。別の日は4歳児クラスがとうもろこしの皮むきのお手伝いをしました。保育士が40本のとうもろこしを見せ「小さいお友達も食べるから頑張れる」と聞くと、張り切って何枚も重なっている皮を「かたい」とつぶやきながらも真剣な顔で剥いていました。調理士に「助かりました」と礼を言われ誇らしげでした。素材に触れて食べることを楽しみにしたり、手伝いをして喜ばれたりしながら、食材との関わりを通して食べることが大好きな子どもたちになるように願っています。夏の間、子どもたちが安全に健康に過ごすことができました。健康チェックや水遊びの準備にご協力頂きありがとうございました。



### 行事予定

引き渡し訓練 全園児

運動会幼児練習

10月 運動会全体練習

運動会 2~5歳児

0、1歳児自由参加

中旬 身体計測

※運動会練習は、碑小学校校庭で行います



### ゆらゆら金魚



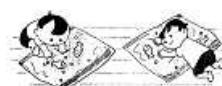
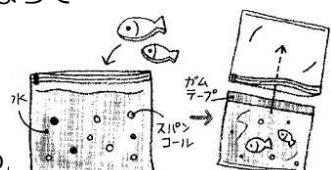
### ～ひよこ組～

子どもたちのお気に入りは、圧縮袋に水と金魚の浮き玩具を入れた手作り玩具です。初めて出すと“何だろう”という表情で近寄ってそっと手で触り、水の冷たさや水が揺れる感覚にはっとした表情をしています。一緒に触りながら「おもしろいね」と声を掛けるとさらに袋を触り中の金魚が動くことに気が付き顔を近づけ、動く様子を真剣な眼差しで追ったり、揺れている金魚を捕まえようと手で押さえたりしています。暫く遊んでいると、袋を踏んだり上に座ったりと遊び方もダイナミックになり、保育士が歌を口ずさむと袋の上に座って歌に合わせ身体を上下に揺らしています。床とは違う水ならではの感覚を喜んでいました。全身で水の冷たさや揺れる心地良さを楽しんでいる子どもたちです。

#### 作り方

団圧縮袋に、水と金魚など好きな玩具を入れて口を閉め、布ガムテープで覆う。もう一枚の布団圧縮袋に入れ二重にして口を閉じて完成です。

※漏れないように気を付けて遊んでね



## ～心も身体も大きくなったね～プール遊び～



### こぐま組（3歳児）

『 プールって楽しいね、プール大好き 』



プールの中でしゃがめるようになると、♪よちよちアヒルさんかわいいな♪の歌に合わせて保育士や友達とアヒル泳ぎを楽しんでいます。「ワニになるよ」とプールの底に手をついて足を伸ばしてみると顔に水が近づきドキドキして手を引っ込めてしまいますが「人魚姫泳ぎみたいだね」と保育士が声をかけると、今までのドキドキがなくなったかのように顔を上げ、両足を浮かせてゆらゆらと動かしています。「人魚姫待って」と保育士も同じように泳いで追いかけると他の子も連なり、水の中をぐるぐると回って追いかっこになりました。「明日も入りたい！」と毎日プールを楽しみにしていた子どもたちでした。“友達と一緒に面白い”“プールって楽しいな”と大好きなものが増えました。



### そう組（4歳児）

『 やってみたいな！ できるかな？ やってみよう!! 』



プールが楽しみな子どもたちは「ワニ泳ぎをたくさんしたいよ」「イルカジャンプしたいな」とプール遊びで挑戦してみたいことをたくさん話してくれます。「顎まで水につけられるかな」と今日はこんなことに挑戦してみようとわくわくしながらプールに入り友達と遊んでいるうちに水に慣れていく子もいますが、自分のタイミングでそっと顎を水につけ、次は口、最後に顔と勇気をだしながら挑戦している子もいました。その姿を見て保育士や友達が「今のすごいね」と声をかけるとできるかなと不安な表情が、満面の笑顔になっています。挑戦を認められて自信がつくと「もっと顔をつけてみるから見ててね」と更なる挑戦に挑んでいました。プール遊びを通して「こんなことをしてみたい」を実現する面白さを体験することができました。



### らいおん組（5歳児）

『 応援してるよ 』



プール遊びを毎日楽しむ中で「今日はここまで顔を水につけられたよ」と、その日頑張ったことや次にやりたいことを話してくれる姿も増え、子どもたち一人ひとりとプールの目標を考えることにしました。保育士が「～さんは顔をつけるように頑張っているよね。プール最後の日には、顔をつけるワニ泳ぎもできるようになるかもしれないね」と話すと「うん、顔をつけて泳ぎたいんだ。プールで“もぐりもぐりの術”ができるようになりたい」とプール最後の日までにこうなりたい自分の姿を思い浮かべながら目標を話してくれました。一人ひとりが立てた目標はクラスで発表し合い、友達の目標も聞きました。「～ちゃんできたね」と保育士が一人の子に声をかけていると、友達の泳ぎを見た子が「本当だ、～ちゃん昨日までは口までだったのにもう顔つけてるすごいね」と目標に向かってチャレンジする友達を応援し、頑張ったことを一緒に喜ぶ姿に成長を感じた夏でした。